

前置詞をタスク活動で指導

—お絵描きで前置詞を学ぶ—

英語科 村田 文

英語学習において定型表現を覚えることは重要であるが、前置詞を名詞や動詞とセットで覚えこんで前置詞自体の意味を理解していない生徒が多いということを経験した。そのため、良く使われる前置詞が示す位置や方向性をお絵描きというタスク活動を通してイメージしながら理解してもらう取り組みを行った。

〈キーワード〉 前置詞 タスク活動 二次元 三次元

1. はじめに

前置詞は英語において平面的、空間的な位置や方向を表す。また、日本語と同様に英語においても、時間の経過を、空間的移動をメタファーに用いて表現するため、前置詞が多く使用される。ところが、それぞれの前置詞自体が示す位置や方向性は英語教育ではあまり取り上げられず、効率を重んじてどの動詞あるいは名詞と一緒に使われるかで教え込まれることが多い。これは句動詞を多く習得するためには有効であるが、間違いを生むことがある。例えば、生徒たちに「芝生の上を歩かないでください。」を英語で表現するように尋ねたところ、多くの生徒が“Keep from the grass.”と答えた。これは“keep from”で「～しない」と覚えているからであろうと推察されるが、正しくは“Keep off the grass.”である。今回はこのような間違いを減らすために、前置詞の意味を改めて理解してもらう試みをした。

2. 前置詞とは何か

前置詞はどの英文にも現れ、重要な役割を果たしている。しかし、前置詞はとりたてて指導されることはない。実際に前置詞の一つをとってもたくさんの意味を持っているのですべてを教えるのは不可能である。例えば on という前置詞について、Cambridge Dictionary (Cambridge University Press, n.d.) では 22 通りの意味が記されている。また、前置詞は句動詞の一部を担うときに、前置詞が違っていても日本語では同じことを言っているように感じられるので混乱することが多い。例えば“fill in”と“fill out”はどちらも日本語では用紙に「記入する」ことであるが、“fill in”は部分的に書き入れることを意味するが、“fill out”は用紙全体を記入して書き上げるというイメージであり、同じことを言っているようで方向性は異なる。

Liu (2014) は、前置詞とは我々人間が住んでいる空間の中での位置や時間の経過を物理的に表現する要となる品詞であると定義している。また、Yasuda (2014) は、日本語が動詞付辞付け言語であるのに対して英語は衛星辞付け言語なので、前置詞は言葉で動きの方向性や時間を示すのに重要な役割を示すと説明している。

3. 前置詞の指導

授業内で指導していた生徒から“**He sat in the corner.**”という英文はなぜ“**at the corner**”ではないのかという質問を受けたので、この生徒が in と at の違いについて考えずに“**at the corner**”で覚えこんでいるのではないかと推察し、この生徒の質問に対して、教室で Liu の図 (図 1) を使ってそれぞれの前置詞の意味を説明した。

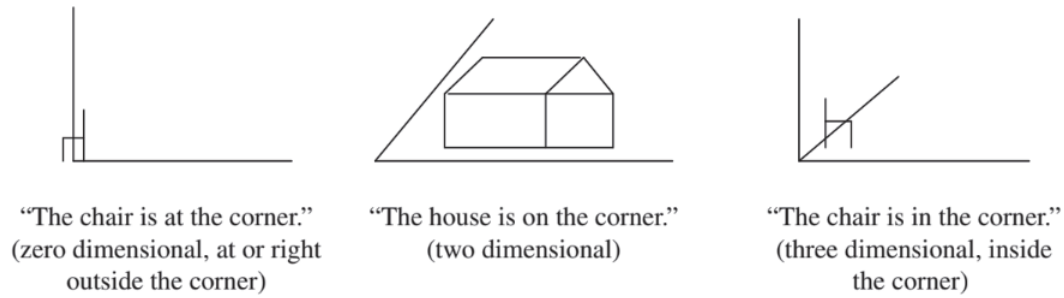


FIGURE 10.2 Visual illustrations of *at/on/in* the corner.

図 1 Liu (2014)の *at/on/in* の説明図

ここで, *at* はまさに一点を示すのに対し, *on* は二次元でとらえたときの表現であり, *in* は 3 次元でとらえたときに使われる表現であることを説明した。“He sat in the corner.” という表現は, 登場人物が悲しそうに隅っこに座っていたことを表すのに最適な表現であった。この解説の反応が良かったので, 前置詞を改めて指導する授業をすることにした。

4.1 前置詞の学びをねらったタスク活動と評価 (実践)

本校の高校 2 年生全員の生徒 107 名を対象に, 前置詞の指導のためのタスク活動を行った。初めに, 生徒の理解度を図るために問題 (資料 1) を解いてもらい, その後各自で答え合わせをさせて, 授業内で解説をした。その後に, 私が英語で読み上げた指示に従ってこれから絵を描くように指示した(資料 2)。指示の内容は図 2 のとおりである。指示に従えばかわいい「黒猫」が描けるはずである。間違えやすい *on*, *side by side*, *over*, *toward* を使って英文を入れた。質問は一切受けないので, 聞いて思った通り描くように指示した。生徒が絵を完成させている間に見回りをして, ちゃんと黒猫の絵が完成した生徒には許可をもらって教室で全員に正解として見せた。絵が上手く描けなかった生徒はなぜ上手く描けなかったのかを理解してもらうために, 先述の *on*, *side by side*, *over*, *toward* を解説した。その後, 生徒たちに何が上手いかなかったのかをふりかえってもらった。

最後に, 同じ前置詞を使って一週間後に小テスト(資料 3)を行い, 結果を評価した。

1. Draw a big triangle.
 2. Draw a big circle over the triangle.
 3. Draw a curved line from the left point of the triangle toward the circle.
 4. Draw two small triangles on the circle.
 5. Draw two small circles in the big circle, side by side. Draw two small dots in each circle.
 6. Draw four short lines under the triangle, vertically.
 7. Draw three lines from each side of the big circle, toward the right, and toward the left.
 8. Black out all the objects except for the two small circles in the big circle.
- Did you get a cute cat?

5. 結果と考察

授業の初めに行った問題の正答率は自己採点で平均 25 問中 12 問、約 50% だった。特に **on, at, over** の正答率が低かったので Liu の図を使って説明した。その後に行ったお絵描きでは、猫を完成させた生徒は 107 名のうち 13 名だった。最初は問題を静かに解いていた生徒たちも、完成した変な絵を見て大声で笑いながら悔しそうにしていた。その後どこを間違えたかが気になり、最初の問題の解説よりも真剣に説明を聞き始めた。一つのクラスでは、解説の後で悔しいのでもう一度問題を読みあげてほしいという要望があり、再度同じ絵を描いて黒猫を完成させた。

このタスク活動が良かった点は、完成した絵を見て何の前置詞をちゃんと理解していないか生徒にもはっきり分かった。図 3 の絵を描いた生徒は **over** の意味を取り違えており、‘side by side’ の意味がわかっていない。**over** はある物体の上に位置することを表すが、完全に離れた状態ではなく、その物体を覆っていたり、一点が接触していたりするような状態を表す。このような絵は多くみられた。図 4 の生徒は **over** に関しては「覆っている」という意味でとらえて描こうとして混乱したことが窺える。このような絵も多くみられた。また、4 本線があちこちに描かれているところからこの生徒は **under** も理解していないことがわかる。図 5 の生徒は **on** の意味を取り違えて二つの小さな三角形を横に描いている。これだと「円の上」というより「円に接している」ように見える。また、ひげが描けていないので **toward** の意味も分かっていないことがわかる。

お互いの絵を笑いあった後、生徒たちは **on, side by side, over, toward** の説明を最初の解説よりも熱心に聞いてくれた。

その後行った試験の正答率は 25 問中 19 問だった。生徒の理解度が上がったことがわかった。小テスト(資料 3)ではお絵描きはなく文章題で出題したが、**over** の正答率は 12% から 87% と大きく向上した。

6. 振り返り

タスク活動のあと、生徒たちに今回うまくいったこと、いかなかったことと授業の感想を振り返りシートに記入してもらった(資料 2)。生徒たちの感想をまとめると、ほぼ全員の生徒が今回の授業が前置詞を理解するのに役立ったと回答し、特に **at, on, in** を図で解説してもらったことが良かったと回答した生徒が 25% いた(表 1)。生徒たちからのコメントを表 2 に示した。

図 2 お絵描きのスクリプト

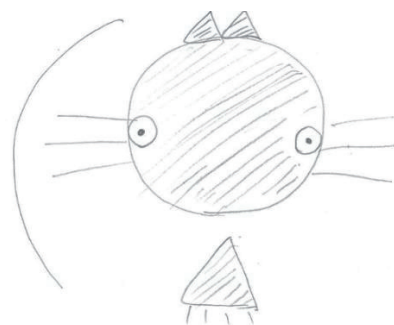


図 3 生徒の作品 1

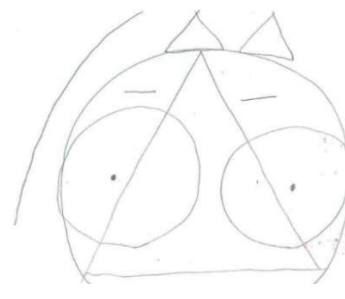


図 4 生徒の作品 2



図 5 生徒の作品 3

表 1 生徒たちの感想のまとめ

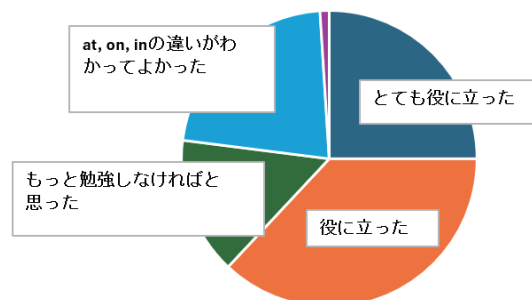


表2 生徒たちの感想（自由記述）

前置詞の定義を再確認することができた
イメージで前置詞を覚えるとその都度文脈から考えられるのでどのような意味を示すのかがよくわかった
前置詞で状態が分かるようにきちんと決められているんだなあと思った
前置詞の感覚やイメージがわかった
in, on, at の区別があいまいだったのでそれを理解できてよかった
動詞と対応している前置詞の使い方もしりたい
あまり前置詞の使い方を覚えていなかった
前置詞を用いた表現をたくさん覚えようと思った
前置詞で状態が分かるようにきちんと決められているんだなあと思った
普段前置詞を中心に学ぶ機会がないので、良い機会になった
熟語で覚えるのではなく、理屈と合わせて理解することによってより使いやすい英語の習得につながったと思う。
前置詞で絵が変わってしまうのが面白かった。前置詞は、ほかの単語と覚える以外にも意味を理解したいと思った。
前置詞を忘れていたところも確認することができてよかったです。
学びなおそうと思った
前置詞を活用して絵を描いたことで、前置詞が重要だとわかりました。
熟語で覚えるのではなく、理屈と合わせて理解することによってより使いやすい英語の習得につながったと思う。
英語のほうが表現が細かいことがわかった
今まで何となく使っていたので勉強しなおしたい
前置詞が壊滅的だったので頑張ります
前置詞による認識の違いや、その前置詞が前後の語と組み合わせるとどのような意味やイメージになるのを知ることができた
普段書くときはなんとなく使っていたけれど、改めて確認できてよかった
勘で書くと半分しか当たらないんだなと思いました。
前置詞を理解しているようで、意外とわかっていないところが多いと思った
自分がいかに適当に前置詞を選んでいたのかがわかりました
どの場合にどの前置詞を使うのかあいまいだったが、それが少し解決できた。
役に立った。前置詞のイメージにつながった
前置詞をなんとなくとらえていたが、似ている前置詞の違いを理解することに役立った。
文章だけでなく視覚的に前置詞を理解するのに役立った
前置詞がいつも微妙なので、今回の授業は役に立ったと思う。
いつもなんとなくのイメージで使っている前置詞を絵に描いてみることで視覚化できて、頭の中であいまいだった定義が、場面によって使い分けられるようになった。
知らないとわからないことが多くてかなり難しかったが、絵を完成させるという目的があると楽しく学べた。
空間的に説明してくれてありがたかった

7. おわりに

前置詞がそれぞれ示す位置や方向を 2 次元, 3 次元で理解することは生徒にとって有効であることが分かった。今回のタスク活動を通して, 生徒たちの誤った認識を絵によって率直に, 楽しくフィードバックすることができた。絵を見たときのショックが大きければ大きいほど生徒たちの学びは大きく, 「失敗から学ぶ」授業を行うことができた。

参考文献

- Liu, D. (2010). *Describing and explaining grammar and vocabulary in ELT: Key theories and effective practices* (pp151-152). Routledge
- Boers, F., & Demecheleer, M. (1998). A cognitive and semantic approach to teaching prepositions. *ELT Journal*, 52, 197-204, doi:10.1093/elt/52.3.197
- Yasuda, S. (2010). Learning phrasal verbs through conceptual metaphors: A case of Japanese EFL learners. *TESOL Quarterly*, 44(2), 250-273.
- Cambridge University Press. (n.d.). on. In *Cambridge dictionary*. Retrieved December 12, 2024 from <https://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/on>
- Cambridge University Press. (n.d.). over. In *Cambridge dictionary*. Retrieved December 12, 2024 from <https://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/over>
- Cambridge University Press. (n.d.). fill. In *Cambridge dictionary*. Retrieved December 12, 2024 from <https://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/fill>
- Emberley E.D. (2006). *Ed Emberley's Drawing Book of Halloween*. Little, Brown and Company.

資料 1

2nd Grade Class _____ No. _____ 名前 _____

Choose the most appropriate preposition from below.

at / on / in / with / of / up / out / after / off / behind / for / to / at / by / over / from

1. 彼はいつも時間通りに来ない。
He never comes () time.
2. もう行かなきゃ。まだ工作中だから。
I need to go now. I am still () duty.
3. まだバスの中にいるんだ。
I am still () the bus.
4. 電車の中に多くの人に乗っていたので座れなかった。
There were so many people so we couldn't sit () the train.
5. 昨日友達を訪ねた。
I called () a friend of mine last night.
6. 待って。電話を切らないで。
Wait a minute, don't hang ().
7. 昨日あまり眠れなかったので疲れている。
I am so tired () not sleeping well last night.
8. 多くの人々が飢餓でアフリカで亡くなっている。
Many million people die () starvation in Africa.
9. この用紙に記入してください。
Please fill () this form
10. 彼女は文実の責任者です。
She is () charge () Bunjitsu.
11. 私達はヨーロッパに向けて出発した。
We set () on a trip across Europe.
12. 私はあなたの後ろに座っています。
I am sitting right () you.
13. 人はまず簡単に達成できることに手を伸ばす。
Humans reach () the low-hanging fruit first.
14. その犬はボールを投げつけた男の子を追いかけた。
The dog ran () the boy who threw the ball () it.
15. 私達は式の後にカラオケに行った。
We went out for Karaoke () the ceremony.
16. 今週末までにレポートを提出しなければなりません。
You need to hand () the report () the end of this week.
17. 芝生の上を歩かないでください。

Keep () the grass.

18. 彼女は部屋の隅で化粧をしていた。

She was putting () make-up () the corner of the room.

19. 部屋を掃除しなさい。

Clean () your room.

20. 一時間以内に帰ります。

I will be back () an hour.

21. 彼はもう少しで車にひかれるところだった。

He almost got run () by a car.

22. 私はいつも夜遅くに寝ます。

I usually sleep late () night.

23. 式は予定より少し遅れて始まった。

The ceremony started a little () schedule.

資料 2

Task

Let's draw a....



Reflection (日本語可)

1. How was the test?
2. What did you get?
3. Which part was the most difficult?
4. How did this lesson help you to acquire prepositions?

資料3 小テスト

1. Choose the most appropriate preposition from below.

at / on / in / with / of / up / out / after / off / behind / for / to / at / by / over / from

- (1) 多くの人が飢餓でアフリカで亡くなっている。
Many million people die () starvation in Africa.
- (2) 彼女は文実の責任者です。
She is () charge () Bunjitsu.
- (3) 人はまず簡単に達成できることに手を伸ばす。
Humans reach () the low-hanging fruit first.
- (4) 私たちはまだ車の中にいます。
We are still () the car now.
- (5) 彼はもう少しで車にひかれるところだった。
He almost got run () by a car.
- (6) レポートを出し忘れた。
I forgot to hand () my report.
- (7) 生徒たちは先月台湾に向けて旅立った。
The students set () on a trip to Taiwan last month.
- (8) 大谷選手はセンターに向けて打った。
Ohtani hit the ball () the center field.
- (9) 三角の上に大きな丸を描いてください。
Draw a big circle () the triangle.
- (10) レキシントンアヴェニューの角を曲がってください。
Turn () the right () the corner of Lexington avenue.
- (11) 私はバスの中で友達に偶然会った。
I happened to meet my friend () the bus.
- (12) 待って。電話を切らないで。
Wait a minute. Don't hang ().
- (13) あのカップルは隣同士で座っていた。
That couple was sitting side () side to each other.
- (14) 彼は夜遅くに友達を訪ねた。
He called () his friend late () night.
- (15) 昨日あまり眠れなかったので疲れている。
I am so tired () not sleeping well last night.
- (16) この用紙に記入してください。
Please fill () this form
- (17) 私はあなたの後ろに座っています。
I am sitting right () you.

(18) 芝生の上を歩かないでください。

Keep () the grass.

(19) 一時間以内に戻ります。

I will be back () an hour.

(20) 式後に会いましょう。

I'll see you () the ceremony.

(21) 予定より遅れているので急いでください。

Hurry ()! We are () schedule.